



# イグザレルト® WEBカンファレンス

日時: 2023年 **6月23日(金)** **18:00~19:00**

講演1

18:00-18:30

## 急性肺塞栓症そのあとは?? ～慢性期をみすえた肺塞栓治療戦略とは～



演者

**足立 史郎 先生**

名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 病院助教

急性肺塞栓症の生存率は改善しているが、その慢性期のフォローは大きな課題である。急性肺塞栓後、息切れ症状は約半数に残ると言われており(肺塞栓後症候群)、その最重症型が慢性血栓塞栓性肺高血圧症である。この原因は残存血栓だと考えられている。肺塞栓後症候群を減らすためにも急性期の適切な抗凝固療法や抗凝固療法中止の慎重な判断が必要である。多施設共同研究Nagoya PE studyの結果から、「慢性期をみすえた肺塞栓症治療」の具体的な戦略を紹介する。

講演2

18:30-19:00

## がん併発の静脈血栓塞栓症治療と血栓消失の意義



演者

**中西 直彦 先生**

京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器・腎臓内科学 学内講師

静脈血栓塞栓症は時に致死的となりうる疾患である。近年では癌を併発した静脈血栓塞栓症患者が増加してきているが、癌関連の静脈血栓塞栓症に対する抗凝固療法では出血のリスクが非常に高い。一方で不十分な治療は慢性期合併症を引き起こし、患者の予後やQOLを低下させる。本講演では癌関連の静脈血栓塞栓症に対する抗凝固療法のエビデンスと、癌患者の静脈血栓塞栓症治療におけるリバーロキサバンの血栓退縮効果について話したい。

Q&Aについて

インターネットを通じて随時質問を受け付けます。お寄せいただいた質問は講演の最後に直接ご回答をいただく予定です。

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じてライブに参加いただけるカンファレンスです。

WEBカンファレンスの参加方法は裏面をご参照下さい。▶

主催: バイエル薬品株式会社